

地球環境に関するアジア太平洋地域共同研究・観測事業拠出金

185百万円（134百万円）

地球環境局総務課研究調査室

## 1. 事業の概要

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）は、21ヶ国が参加し、地球変動研究に対する競争的な研究資金を提供する機関。政府間会合・科学企画委員会を開催し、地域の政策ニーズと科学的な研究ニーズに基づいて、共同研究・能力開発プログラムへの支援を行っている。

本事業では、既存のプログラムに加えて、途上国における森林減少・劣化に由来する温室効果ガス排出削減（REDD）に焦点をあてた特別枠を新たに創設し、途上国における影響予測を踏まえた適応能力の向上を図る。

## 2. 事業計画

- （1）政府間会合及び科学企画グループ会合の開催等
- （2）開発途上国の研究能力開発・向上プログラム
- （3）公募型共同研究プログラム
- （4）気候変動による影響予測に係る研究能力開発及び公募型共同研究の推進
- （5）途上国における森林減少・劣化に由来する温室効果ガス排出削減（REDD）のための国際研究協力の推進〔新規〕

## 3. 施策の効果

アジア太平洋地域における地球環境変動研究と、その研究への途上国からの参加の促進により、科学研究と政策決定の連携が強化される。

気候変動に係る緩和・適応や水・食糧の安全保障、さらに森林減少・劣化に由来する排出の削減について、途上国自身の対処能力が向上する。

気候変動に関する科学的能力の強化により、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書の作成に貢献するとともに、地球温暖化対策への途上国の取組が促進される。

## アジア太平洋地球変動ネットワーク (APN)

APN - 当該地域の21ヶ国(下記参照)が参加する地球変動研究に対する競争的な研究資金を提供する機関 - では、既存のプログラムに加えて、気候変動への「適応」特別枠を創設し、途上国における「賢い適応」の実施能力の向上を図っている。



アジア太平洋地域における地球変動に関する国際共同研究の推進

公募型共同研究 (2009/2010年度)  
新規採択: 11件、 継続: 8件

開発途上国の科学的能力の向上

キャパシティ・ビルディング型研究 (同)  
新規採択: 12件、 継続: 2件

### [背景]

- 「21世紀環境立国戦略」において、温暖化の影響を受けやすい地域(特に途上国)への対策が必要、と言及。
- IPCC 第4次評価報告書: 自然資源に経済を依存する途上国は、気候変動に対して脆弱。

### [施策の効果]

- 途上国自らが温暖化に将来予測や地域の環境・経済・社会状況に基づく適切な脆弱性評価を実施し、リスクを同定し、その回避・低減方策を検討する能力を高める。
- 効果的・効率的な「賢い適応」の実施を推進。

### 新たに「REDD」枠を創出

REDD: (途上国における) 森林減少・劣化に由来する温室効果ガス排出削減